

## 2023.06.17 診断エラーから診断エクセレントー1

1.今日のセッションの中で、一番心の中に残ったことを教えてください。

問診・身体診察：解像度を上げる意識、透視するつもりです レビュー、ハリソン、エディトリアルを読み  
胃が巨大化し、すい臓に乗っていたという症例です

physical examination forever

診断エラーにここまで理論があったのですね。

頭に鑑別診断が浮かばないとどこを診察するべきかわからない。

口腔カンジダの確認

志水先生の診断戦略のはなし

皆さんがよく勉強されていると思った

診断エラーは素晴らしい

肺炎の機序

志水先生：基礎医学を用いて病歴・身体所見を映像化してみるという視点

髄膜炎は背側の筋肉が緊張する、動脈炎は圧痛がある、AIDS は口腔で診断できるなど目からウロコのフィ  
ジカルでした。

志水先生の緻密な頭の中です。

## 2023.06.18 診断エラーから診断エクセレントへー2午前の部

1.今日のセッションの中で、一番心の中に残ったことを教えてください。

和足先生の、診断エラーは肺炎などと同程度の頻度があるということ。

診断エラーを振り返ること、診断エラーは振り返るとき文字に書いた方がいいこと。

Diagnostic excellenceこそ今後の注目領域

人生のリソースの限られてしまっている高齢者に対しては、そのニーズを探り当て、どれに答えること。  
究極的には幸福、安心、癒しを第一に考えること。

diagnosis excellence に、患者への説明・患者の理解も重要

名医でも25人診察した場合、22%で診断エラーが起こる

英文ジャーナルのテーマが基礎研究よりもどのように医療の成果を社会に均霑化するかというテーマが多  
数を占めるといった情報提供。

和足先生の見える化すればなんとかなるぜ！自分の初診外来の誤診率を一度だしてみようと思いました。

## 2023.06.18 診断エラーから診断エクセレントへー2午後の部

1.今日のセッションの中で、一番心の中に残ったことを教えてください。

医師は医療の専門家だが、患者は自分自身の専門家。 錚々たる先生方が日々新しいアクションプランを  
考える姿勢。

患者さんに診断きいてみる。復唱。

ゆっくり話して患者さんから言いやすい態度で接すること

周囲のスタッフの協力で診断につながる。自分も看護師さんのおかげで診断に繋がった症例ありま  
した。

患者さんも一緒に考えるというのもありですね